

ヘンデル オラトリオ

# ヨシュア

「見よ、勇者は還る!」

— See, the conqu'ring hero comes! —

表彰式でおなじみ

2020年 1月25日 土

「契約の箱とともにヨルダン川を渡るヨシュア」 Benjamin West

全3幕ノーカット上演 ● 演奏会形式 ● 原語(英語)上演 ● 字幕付き

開演 15:30 (開場 15:00) — 終演 18:45 頃予定 会場 浜離宮朝日ホール

## 入場料 (全席指定)

◆ 一般 [S]…7,800円 [A]…6,300円  
[学生]…3,000円 (当日のみ)  
◆ 支援会会員 ……[S]…5,500円 [A]…4,500円

※学生券はアレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

## チケット取扱

一般発売開始 9月11日(水)

アレグロミュージック 03-5216-7131  
朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990  
カンフェティチケットセンター 0120-240-540

本公演連動企画 (企画1)

## 講演会「《ヨシュア》の魅力」

2019年 12月21日(土) 14:00~16:00

会場 ◆ 池上ルーテル教会 講師 ◆ 三澤寿喜

## 入場料 (全席自由)

[一般]…2,000円 [学生]…1,000円 [支援会会員]…1,400円

## チケット取扱

▶ HFJ事務局 ☎ 0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org  
▶ カンフェティチケットセンター ☎ 0120-240-540



お問合せ

HFJ事務局 (三澤) 0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org  
ヘンデル・フェスティバル・ジャパン公式ウェブサイト <http://www.handel-f-j.org/>

— 主催 —  
ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会  
— 協力 —  
東京古典楽器センター (チェンバロ)  
石井賢 (オルガン) • Zimakuプラス  
池上ルーテル教会 • HFJ支援会 HANDELIAN  
— 助成 —  
公益財団法人朝日新聞文化財団  
公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
— 後援 —  
国際ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会 (ドイツ・ハレ)  
— マネージメント —  
アレグロミュージック 03-5216-7131





# 第17回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.17

## ヘンデル作曲 オラトリオ《ヨシュア》HWV 64 JOSHUA HWV 64

上演時間 第1幕＝約48分 第2幕＝約40分  
第3幕＝約30分 幕間休憩＝各20分

1745年～46年頃のイギリスはジャコバイト党の反乱勃発により極めて政情が不安定となっていた。この時期、ヘンデルは「軍国的」「愛国的」色彩の濃いオラトリオを立て続けに作曲している。1746年作曲の《ユダス・マカベウス》はその代表作であるが、続く1747年作曲の《ヨシュア》もそのひとつ。

今日、残念なことに、《ヨシュア》は有名な《ユダス・マカベウス》の陰にすっかり隠れてしまっている。しかし、《ユダス・マカベウス》とは異なり、《ヨシュア》には若い恋人同士の艶やかな愛の場面や、独創性が際立つ「2つの奇蹟の名場面」がある。アクサの「嗚呼、私にユバルの堅琴があれば Oh! had I Jubal's lyre!」も初演当時から今日まで人気のアリアだ。加えて、表彰式ですっかりお馴染みの「見よ、勇者は還る! See, the conqu'ring hero comes!」もこの《ヨシュア》の中の合唱曲なのである。魅力的な独唱と二重唱、壮麗な合唱、大規模で色彩豊かな管弦楽……。劇場娯楽としての魅力満載の《ヨシュア》は正真正銘「知られざる傑作」のひとつである。

### あらすじ

「出エジプト」ののち、モーセに代わって新しい指導者となったヨシュアが約束の地カナンへとイスラエルの民を導く。しかし、そこには数々の先住部族との戦が待ち受けている。

◆ 第1幕 — ヨルダン川を渡ったイスラエルの民は神に感謝するが、エリコの城が行く手を阻む。天使が舞い降り、エリコ陥落を預言する。一方、イスラエルの若き指揮官オトニエルは愛するアクサと幸福の時を過ごす。それも束の間、戦闘開始を告げるトランペットが鳴り響く。

◆ 第2幕 — イスラエル軍が契約の箱を先頭にエリコの城の周りを7回巡ると、神の預言どおり、エリコの城門が崩落し、敵は全滅する。続いて、ギブオンの町に進撃する。ヨシュアが神に祈ると太陽も月も静止する奇蹟が起き、イスラエルが勝利する。

◆ 第3幕 — イスラエルは次いでデビルの町を攻撃する。イスラエルの族長カレブはこの町を滅ぼした者に娘アクサを娶らせることを約束する。するとオトニエルが見事にデビルを攻略する。全イスラエルはオトニエルの凱旋を祝う。オトニエルはアクサと結ばれ、幕となる。

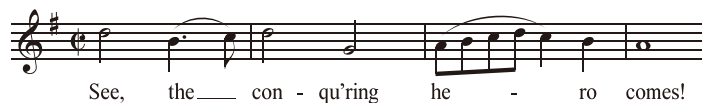
### 最大の聴きどころ 2つの奇蹟の名場面

① 第2幕、第1場：イスラエル軍が城を巡ると城門が崩落する＝ヨシュアのソロと合唱「神に栄光あれ! Glory to God!」。トランペットとホルンを伴いヨシュアが力強いソロを歌うと、軍勢が合唱で勇壮に呼応する。全イスラエルの力強いリーダーたるヨシュアの英雄的性格が余すところなく描かれる。この曲をロンドンで聴いたハイドンが「いたく感動したというのも頷けよう」。

② 第2幕、終曲：ヨシュアの祈りが届き、太陽も月も静止する＝ヨシュアのソロと合唱「ああ汝、輝ける球体、偉大なる昼の支配者よ O thou bright orb, great ruler of the day」。太陽と月が天高く静止する様を描くアイデアが独創的。冒頭、弦が低い1点二音から動き出し、「2点イ音」まで到達すると、そこから24小節間にわたって「2点イ音」が保持される(楽器はヴァイオリン — オーボエ — トランペットと受け継がれる)。



「見よ、勇者は還る!」  
— See, the conqu'ring hero comes! —



この合唱曲は《ユダス・マカベウス》より「見よ、勇者は還る!」と呼ばれている。しかし、元は《ヨシュア》の第3幕、オトニエルの凱旋の場面用に作曲されたものである。この曲を気に入ったヘンデルは、その後、《ユダス・マカベウス》の再演の折、英雄ユダスの凱旋場面にこの曲を丸ごと借用して演奏するようになった。ヘンデルの存命中、残念ながら《ヨシュア》は演奏機会が乏しかったのに対して(計7回)、《ユダス・マカベウス》は《メサイア》、《サムソン》と並ぶ人気作品となり、頻繁に演奏された(計33回)。このため、《ユダス・マカベウス》より「見よ、勇者は還る!」という呼称が定着してしまったのだろう。

「本家争い」はさておき、「見よ、勇者は還る!」は計算された盛り上がりをもつ、大迫力の合唱曲である。お馴染みの旋律は3回繰り返されるが、繰り返されるごとに合唱や管弦楽の編成を変えながら、最後は地も割れんばかりの迫力で勇者を称えるのである。

### 出演

ヨシュア (イスラエルの指導者)

辻裕久 (T)

コンサートマスター

川久保洋子

アクサ (カレブの娘、オトニエルの恋人)

広瀬奈緒 (S)

通奏低音

懸田貴嗣 (チェロ)

平野智美 (チェンバロ)

オトニエル (若き指揮官)

波多野睦美 (Ms)

高本一郎 (リュート)

指揮

三澤寿喜

カレブ (族長)

牧野正人 (B)

合唱 & 管弦楽

天使

前田ヒロミツ (T)

キャンゾ・コンサート

室内合唱団 & 管弦楽団 (古楽)



HFJ 全曲録音CD  
《メサイア》

好評  
発売中!

- 広瀬奈緒 (S) ● 波多野睦美 (A) ● 辻裕久 (T)
- 牧野正人 (B) ● 三澤寿喜 (指揮)
- キャンゾ・コンサート室内合唱団 & 管弦楽団

「魅力的なのは、演奏の生命力だ。日本人の演奏した同曲の最高位に位置するだけでなく、多くの録音と比べても遜色のない名演である」(國土潤一氏「ハーモニ」2019年夏号)

HFJのモットー：  
激情人、劇場人、ヘンデル

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費  
1口1万円から

お申込み、お問合せ：HFJ支援会事務  
jimukyoku@handel-f-j.org

浜離宮朝日ホール 朝日新聞東京本社・新館2階

TEL 03-5541-8710

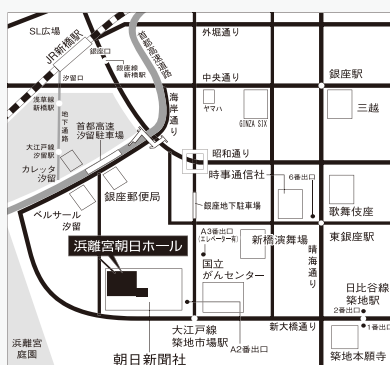
築地市場駅 都営大江戸線(A2出口)すぐ

築地駅 東京メトロ日比谷線(1、2番出口)

東銀座駅 東京メトロ日比谷線|都営浅草線(6番出口)  
より徒歩8分

汐留駅 都営大江戸線(新橋駅方面改札口)  
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

タクシー 「朝日新聞社 正面玄関へ向かってください」  
とドライバーにお伝えください。



池上ルーテル教会

TEL 03-4285-6094

東急池上線「池上駅」  
より徒歩5分

